

平成 28 年

乙訓福祉施設事務組合議会第 2 回定例会会議録

開会：平成28年 6 月28日

乙訓福祉施設事務組合議会

平成28年乙訓福祉施設事務組合議会第2回定例会

議 事 日 程

平成28年6月28日(火)

午前10時00分開議

○出席議員(9名)

向日市	飛鳥井 佳子 議員	太田 秀明 議員
	福田 正人 議員	
長岡京市	白石 多津子 議員	武山 彩子 議員
	田村 直義 議員	
大山崎町	辻 真理子 議員	波多野 庇砂 議員
	森田 俊尚 議員	

○欠席議員

なし

○議会事務局職員出席者

半田 麻子 書記

○地方自治法第121条の規定により、説明のため出席した者(11名)

安田 守	管理者(向日市長)
中小路 健吾	副管理者(長岡京市長)
山本 圭一	副管理者(大山崎町長)
岩崎 英樹	監査委員
藤本 正次	事務局 局長
清水 広行	会計管理者(向日市会計管理者)
河原崎 清隆	事務局次長兼総務課長
石野 功一	乙訓若竹苑施設長
渡辺 三知雄	乙訓ポニーの学校施設長
伊藤 啓子	介護障害審査課長
中川 仁夫	障がい者相談支援課長

○議事日程

日程 1 会議録署名議員の指名

日程 2 会期の決定

日程 3 管理者諸報告

日程 4 例月出納検査結果の報告

日程 5 第 9 号議案

専決処分の承認を求めることについて

(平成27年度乙訓福祉施設事務組合一般会計補正予算

(第3号))

日程 6 議員の派遣について

○会議録署名議員

長岡京市 武山彩子 議員

大山崎町 辻真理子 議員

(開会 午前10時00分)

○波多野庇砂議長 おはようございます。

ただいまの出席議員数は9人であります。

それでは、ただいまから、平成28年乙訓福祉施設事務組合議会第2回定例会を開会いたします。

それでは、これより日程に入ります。

日程1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第75条の規定によりまして、長岡京市の武山彩子議員、大山崎町の辻真理子議員を指名いたします。

○波多野庇砂議長 日程2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

今定例会の会期は、本日1日限りといたしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認め、会期は本日1日限りといたします。

○波多野庇砂議長 日程3、管理者諸報告であります。

安田管理者。

○安田 守管理者 おはようございます。

本日、ここに平成28年乙訓福祉施設事務組合議会第2回定例会を招集させていただきましたところ、議員の皆様におかれましては、お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。

諸報告に入ります前に、去る4月1日付の人事異動に伴いまして、介護障害審査課長に伊藤啓子が就任いたしましたので、ご紹介いたします。

○伊藤啓子介護障害審査課長 伊藤と申します。今後とも御指導の方、よろしくお願いいたします。

○安田 守管理者 それでは、引き続き3月定例議会以降の報告をさせていただきます。

最初に総務関係でございます。

職員の人事異動につきましては、管理職員以外に、係長級3名の昇任を行いつつ、新規職員として、事務職員1名を採用いたしました。

次に、若竹苑の関係でございます。

現在の利用者数ですが、就労継続支援事業35名、生活介護事業6名の合計

41名でございます。市町別では、向日市8名、長岡京市26名、大山崎町5名、京都市2名となっております。

地域活動支援センター事業の登録者数につきましては24名で、市町別では、向日市6名、長岡京市14名、大山崎町4名となっております。日中一時支援事業の登録者数は59名でございます。

また、相談支援事業の現在の契約件数は32件でございます。なお、就労移行支援事業につきましては、平成27年度より休止しておりましたが、平成28年3月31日をもって廃止いたしました。

次に、各事業についてでございますが、就労継続支援事業では、平成27年度工賃向上計画実施状況の報告書を府に提出いたしました。平成27年度は平均工賃額が1万7,534円になり、平成26年度の額を超えることができました。

次に、介護障害審査課の関係でございます。

介護認定審査会の平成27年度の審査判定結果につきましては、お配りさせていただいております資料の1ページ目にその概要を記載しておりますが、合議体を延べ216回開催し、6,221件の二次判定を行いました。

介護認定審査を開始いたしましたのが平成11年10月でございますが、初めて6,000件を超える件数となっております。また、本年4月、5月の2カ月間の審査状況でございますが、2ページ目のとおり、合議体を36回開催いたしまして、1,093件の二次判定を行いました。

次に、障害支援区分認定審査会の平成27年度の審査判定結果でございますが、資料の3ページ目のとおり、合議体を延べ24回開催いたしまして、403件の二次判定を行いました。本年4月、5月における審査状況は、4ページ目のとおり、合議体を4回開催し、41件の二次判定を行いました。

次に、障がい者相談支援課の関係でございます。

乙訓圏域障がい者自立支援協議会につきましては、5月20日に34組織の参加をいただき、全体会が開催されました。全体会では、平成27年度における協議会の事業報告とあわせまして、平成28年度の事業計画として、医療的ケア委員会、地域生活支援及び相談支援の1委員会、2専門部会の継続設置と、雇用に関わる新たな部会設置に向けた準備会の発足も了承されました。

また、介護職員等初任者研修、喀痰吸引等研修及び精神障がい者地域生活支援の3プロジェクトを継続実施することも了承されております。

次に、ポニーの学校の関係でございます。

4月からの利用児につきましては、向日市35名、長岡京市51名、大山崎町10名、合計96名となっております。

行事等につきましては、年間実施計画に従いまして、5月24日に春の遠足を実施しました。また、6月21日に両親教室を開催いたしまして、4名の卒園児の保護者をお迎えして、就学へのアドバイスをさせていただきました。

今年度の新規事業でございます。作業療法士派遣委託につきましては、各クラスにおける個々のケースにつきまして、指導員への実地指導を含めたスーパーバイズをお願いしております。

報告は以上でございます。

○波多野庇砂議長 以上で管理者諸報告を終わります。

日程4、例月出納検査結果の報告であります。

監査委員の報告を求めます。

岩崎監査委員。

○岩崎英樹監査委員 それでは、私からご報告申し上げます。

地方自治法第235条の2第1項の規定に基づく例月出納検査を、平成28年3月25日、4月28日及び5月31日に実施いたしましたので、同法第235条の2第3項の規定に基づき、ご報告申し上げます。

検査結果につきましては、お手元にお配りしております報告書のとおりでございます。なお、報告書にありますとおり、各月の出納等につきましては適正に行われておりました。

以上で、例月出納検査結果の報告を終わります。

○波多野庇砂議長 以上で、例月出納検査結果の報告を終わります。

日程5、第9号議案、専決処分の承認を求めることについてを議題といたします。

安田管理者。

○安田 守管理者 第9号議案、専決処分の承認を求めることにつきまして、ご説明申し上げます。

専決処分を行いましたのは、平成27年度乙訓福祉施設事務組一般会計補正予算（第3号）でございます。

今回の補正は、既定の歳入歳出予算の整理を行うもので、歳入歳出予算の総額から、それぞれ519万円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ4億3,951万9,000円とするものでございます。

これらは、財源措置の関係から急を要し、年度末に議会を招集する時間的余裕が

ございませんでしたので、地方自治法第179条第1項の規定により、専決処分を行ったものであり、同条第3項の規定により、これを報告し承認をお願いするものであります。

なお、詳細につきましては、この後、事務局長から説明いたしますので、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○波多野庇砂議長 藤本事務局長。

○藤本正次事務局長 それでは、引き続きまして補正予算（第3号）についてご説明いたします。

初めに、歳入から説明させていただきます。補正予算書の3ページをご覧ください。

款1分担金及び負担金、項2負担金、目3障害児通所支援等事業負担金を109万6,000円増額するものでございます。これは、障害児相談支援事業、ポニーの学校の事業でございますが、相談件数が、当初見込みよりも増加した結果、増収となったことが主な要因でございます。

次に、款2国庫支出金で93万円の減額、及び款3府支出金の地域生活支援事業費府補助金で120万円の増額でございますが、これはいずれも障がい者虐待防止センターに対する補助金でございます。年度開始後の補助制度の改正等によりまして、府と国の補助割合、補助金額が変更になったものでございます。補助金総額といたしましては27万円の増額となっております。

また、同じく府補助金の京都府みらい戦略一括交付金90万円ですが、これは平成27年度に実施しました若竹苑の空調設備の改修工事に係ります補助金でございます。

次に、4ページをご覧ください。

款4財産収入、項2財産売払収入、目1物品売払収入で、150万3,000円を増額するものでございます。これは、若竹苑の授産事業の売上金の増収によるものでございます。主に就労継続事業の売り上げが伸びたものでございます。

次に款6繰越金、項2繰越金、目1繰越金で142万1,000円を増額するものでございますが、これは前年度繰越金の増額となっております。

引き続きまして、歳出についてご説明いたします。5ページをご覧ください。

款3民生費、項1社会福祉費、目1若竹苑管理費と、目6の障がい者虐待防止・基幹相談支援センター事業費につきましては、予算の増減はなく、補助金の増収によります財源の内訳補正となっております。

また、目2若竹苑授産事業費で150万3,000円を増額するものでございますが、これは先ほど歳入の説明でも触れました、若竹苑の授産事業の増収分を、利用者の作業工賃と、授産作業に用います備品の購入経費に充てるものでございます。

次に項2児童福祉費、目1ポニーの学校管理費でございますが、こちらも予算の増減のない、財源の内訳補正となっております。

最後に、款4予備費に368万7,000円を増額するものでございますが、これは歳入歳出補正の差し引き分を予備費で調整するものでございます。

以上、簡単でございますが説明とさせていただきます。よろしくご審議のほどお願いいたします。

○波多野庇砂議長 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

辻議員。

○辻 真理子議員 3ページの、先ほどのご説明の中で、ポニーの学校の相談件数が伸びたということなんですけれども、実際に比べて件数的に何件くらい伸びているとかというのは、もしわかれば教えていただきたいのですが、いかがでしょうか。

○波多野庇砂議長 渡辺ポニーの学校施設長。

○渡辺三知雄ポニーの学校施設長 平成27年度の総数といたしましては389件になっておりますので、前年度がちょっと今手元にございませませんが、27年度につきましては389件という数になっております。

○波多野庇砂議長 辻議員。

○辻 真理子議員 関連しまして、実際にポニーの学校の方を利用されていまして、療育で利用されてた方で、やっぱり就学前までが対象となっているということで、それ以降の子どもさんで、親御さんの方はそのまま相談とか、計画相談の方でお母さんの心理面的なことであったりとか、相談は今後も受けていただいていると思うんですけど、やはり子どもさんの療育という面で、やっぱりこのポニーの学校を卒所された後のアフターフォローとか、先ほどご説明の中で、4名の方が就学アドバイスを、これも多分親御さんが受けておられると思うんですけど、対象の子どもさんに対しての何かアフターフォローとかというのをされていたら、教えていただきたいのですが、いかがでしょうか。

○波多野庇砂議長 渡辺ポニーの学校施設長。

○渡辺三知雄ポニーの学校施設長 ポニーの学校につきましては、児童発達支援事業をさせていただいているということで、小学校に入りましたら、児童の方にしまし

ても、放課後等デイサービス事業の利用に移っていただくということになっております。

ポニーの学校自体が、放課後等デイサービス事業を実施してほしいという、要望としては、ご父兄の方からもお聞きしておりますが、現状のこの施設の中で、そこまで広げていくような計画もございませんので、現状としては相談支援の方で、親御さんの相談に乗っていくというような形でフォローさせていただくというところ止まりになっております。

○波多野庇砂議長 辻議員。

○辻 真理子議員 実際に、親御さんも不安に、新しいところに、小学校であったり、向日が丘支援学校に行かれるという子どもさんが、環境も変わる中で、親御さんもすごく不安に思っていて、いきなり小学校に就学になったら、相談はできても、子どもさんの放課後児童デイと療育って、やっぱりちょっと違う部分があると思うんです。

なので、そういうところの、また相談であったりとか、連携していただいて、丁寧に見ていただきたいということをお願いさせていただきます。

○波多野庇砂議長 森田議員。

○森田俊尚議員 4ページの、物品売払い収入が増えたということで、もうちょっとその内容を別途ご説明いただけないですかね。具体的にこの下請軽作業とか、その辺について、墓の方なんですけど。

○波多野庇砂議長 石野乙訓若竹苑施設長。

○石野功一乙訓若竹苑施設長 一番多いのが清掃作業でございます。清掃作業については、墓掃除を減らすということでお伝えしておりましたけども、平成27年度につきましては、もう契約しておりましたので、契約を受けた分については続けるということで、27年度については目標額をクリアしております。

そのほか、あとは、下請作業が次に多いということでございます。

ごめんなさい、先ほど、清掃作業と言いましたけれども、清掃作業で一番多いのは福祉施設の清掃作業でございます。その次が下請作業ということで、その次が墓掃除でございます。墓掃除も、同じ掃除ということで。その次が自主製品、自主製品については一番少ない数字となっております。

全体的には50万円ほど少なくなっているんですけども、工賃としては去年よりも少し高くなったということでございます。

○波多野庇砂議長 森田議員。

○森田俊尚議員 例えば、この下請の軽作業なんかされるときに、機械なんかの更新もあるでしょうし、大きな機械なんかというのは使われるケースはあるんですか。

○波多野庇砂議長 石野乙訓若竹苑施設長。

○石野功一乙訓若竹苑施設長 今、若竹苑ですてしております下請作業につきましては、機械は使っておりません。全て手作業ですてしております。

○波多野庇砂議長 森田議員。

○森田俊尚議員 以前やられていた印刷とか、そういったことはもう今はされてないということですね。古い話かな。

○波多野庇砂議長 石野乙訓若竹苑施設長。

○石野功一乙訓若竹苑施設長 印刷につきましては、3、4年前に終了させていただいて、機械と言っても、全然使っていないわけじゃなくて、シームシーラーという、あいう小さなシーラーの機械、それを使っております。

○波多野庇砂議長 森田議員。

○森田俊尚議員 墓掃除というのが、確か2カ所ほどあったと聞いているんですけども、これ、実際、作業内容とか、もうちょっと詳しく知りたいなと思うんですけども、特にこれから、こういう6月、7月、そして8月いうたら、とにかく一番忙しい時期ですし、ただし、ものすごく暑い時期であるので、その辺の、ちゃんと、仕事内容をこなすためには、かなりいろいろとケアが要るだろうと思うんです。

特に苑生の方々も、やりたいと思ってる子はあれやけど、やりたくない子の方が増えているのじゃないかなと思って、その辺をどうされるのかということがすごく気にはなるんですけども、その辺のケアはちゃんとできているんですかね。

○波多野庇砂議長 石野乙訓若竹苑施設長。

○石野功一乙訓若竹苑施設長 まず、環境につきましては、昨年、空調設備を、新調しまして、それまで、すごく環境的にね、いいこと、なかったというか、今は空調設備が新しくなりましたので、非常に快適な空間でこの作業ができております。ただし、外での作業ですけども、それにつきましては、もう水分補給とか、休憩をたくさん目に取るとかいうことで、しんどくならないように考えております。

○波多野庇砂議長 森田議員。

○森田俊尚議員 特に墓掃除とか、清掃作業というのが、かなり重労働になってくるでしょうし、目的が、本来、就労支援とかということ、一定の訓練というようなことも含まれていますので、あまり厳しい、本当にそれで収益を上げないかというような重労働になってはいけないというところがあると思うんですけど、実際、

事業所として、やっぱりきちっと自分たちの思ってる、これだけのこととしてくださ
いという形の要求も出てくるでしょうし、それがきちんと、その辺のことができる
かなというのが非常に心配なところですので、これは、また今後、この辺のことを
よくよく考えながら作業に当たっていただきたいなというのを要望しておきます。

○波多野庇砂議長 飛鳥井議員。

○飛鳥井佳子議員 先ほどちょっと、会議がありまして、そこで、今度の視察が、東
京の町田市ということで、やはり日本でも有名な先駆的なところで、なぜだと思わ
れますかということで、ぜひ管理者の皆様知っておいてほしいんですけども、大
下市長さんが社会党の革新市長であって、そして、障がい者を、全ての施設に配置
をして、どこでも障がい者の皆さんが働けるように、先駆的な策を、もう何十年も
前にしっかり打っておられたことが、今につながって、全国からも視察が多いん
ですけども。

ですから、まず公共のいろんな仕事の中に、障がい者の方が働ける場とか、賃金
をきちっと法的に保障できるようなところを、用意をトップがされているというの
が、すごく大事なことだと思うんです。

それで、清掃とか、いろんなところで障がい者の方が入られているけれども、何
か、それをちょっと、あまり好意的に思わない職員さんもおられて、そこで、狭間
で苦しみながらということがあって、長続きしないということがあるんですけども、
喜んで迎え入れて、一緒に働くようにできるとか、それから、特に耳が不自由
な方とか、こことはちょっと、ポニーの学校とか若竹苑とはちょっと違うのですけ
ど、聾学校の関係の方とか、視覚障がい者の関係の方とか、ますます、なかなか、
せっかく勤めても、その地域で理解がないものだから、虐待防止センターもできた
ことですし、まずそういう一般の知識とか、ともに一緒にまちをつくっていくんだ
ということを、市民に啓発するように、そういうことをするためには、本当にたく
さん、公のところで働ける、きちっとしたお給料が出て働けるところを、トップの
方が保障していってもらわないと、なかなか職種があまり広がらないと思うんです、
お墓の掃除とか、どんな方でも慣れれば、どんどん仕事なさいますので、いろん
な偏見がまだ残っているところもあるので、ぜひそういう中で、公的な雇用を進めて
いただくと、民間も学んで、そしてどんどん広がると思うので、ぜひそういうふう
に進めていただけたらいいかなと思うので、よく、お母様方が苦勞して授産品を手
伝ってとかで、それを販売してとかありますけれども、ぜひ、そういうことでなし
に、おもてでしっかりと公務についてくだされるように、周りが支援するという形

を、目に見えて、町田市のように、乙訓でもどんどんやっていっていただければと思います。よろしく願いいたします。

○波多野庇砂議長 ほか、ございますか。

(「なし」の声あり)

質疑も尽きたようですので、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

まず、反対討論を求めます。

(「なし」の声あり)

次に、賛成討論を求めます。

(「なし」の声あり)

ご意見もないようですので、討論を終結いたします。

これより採決に入ります。

第9号議案について、承認することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

挙手全員であります。よって、第9号議案は承認することに決しました。

○波多野庇砂議長 次に、日程6、議員の派遣についてを議題といたします。

お諮りいたします。

会議規則第144条の規定に基づき、来る7月26日、27日に実施する本組合議会議員視察研修に、全議員を派遣することといたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認め、全議員を派遣することに決定いたしました。

○波多野庇砂議長 以上で本日の議事日程は全て終了いたしました。

その前に、せっかくの機会でございますので、何か当組合に関連する内容におきまして、お聞きになりたいこと、または要望等がございましたら、少々の時間をとりたいと存じますが、しかしながら、事前通告を受けていない形でございますので、内容次第では管理者の答弁につきまして、後日の機会に賜ることとなりますが、前もってご了承ください。

それでは、何かございますか。

武山議員。

○武山彩子議員 機会をつくっていただいたので、お聞きしたいのですが、先ほどのご説明で、若竹苑の就労支援事業が3月31日をもって廃止としましたということ

を、ご報告になりましたので、その廃止になる経過の説明というのを、これまで受けてこなかったんじゃないかなと思うので、休止されているところから、もう正式になくされるということに至った経過についてだけ、お聞かせいただけたらと思います。

○波多野庇砂議長 藤本事務局長。

○藤本正次事務局長 実は、もう過去3、4年ぐらい前から、就労移行、当初、平成19年に立ち上げた、新事業体制になってから、ずっとあったわけで、当初、数年間、利用の方もおられまして、結構、毎年のごとく、2名、3名の方、就労された方もおられました。

ちょっと年を経るごとに、利用者の方が減ってまいりまして、あるときから、もうぱたっと、全くゼロの状態が、約2年、3年続きまして、それをもって、いろいろと検討、市町さんの福祉の方とも検討させていただいた結果、これ以上の継続はちょっと難しいかなということで、一旦休止という形をとろうということで、14年、15年と休止という形をとらせていただいて、その中で、休止ですので、いつでも再開はできるということで、これは、極論を言いますと、廃止でもまた再開はできることはできるのですが、とりあえずいきなり廃止にもっていくのではなくて、その間にもし需要があれば、いつでもカムバックできるような形で休止しようという形で様子を見ましたが、特に需要がなかったこと、また、乙訓圏内に、ほかにも就労移行の事業をされる事業者さんが、その間にもまた出てまいりまして、そちらもやっておられるというような事柄から、休止期間を経まして、この2016年3月末をもちまして廃止という形で、京都府さんの方へもお届けいたしました。今回、ご報告させていただいたということでございます。

過去の議会におきましても、現在、休止しております、あるいは現在、利用者ございませんというのは、過去何回か、ご説明をさせていただいた、その中で、今回、最後の廃止という形でご報告させていただいたというのが経過でございます。

○波多野庇砂議長 飛鳥井議員。

○飛鳥井佳子議員 要望なんですけども、関東方面のいろんな福祉施設を視察に行きますときに、前管理者は一緒に来られて、半分さぼらあったんやけど、どっか行ってしまいあったんやけど、とにかくしっかりトップが見てくれはらんと、議員は一生懸命勉強してレポート書くんですけど、ぜひ、お時間がありましたら、見ていただいて、取り入れていただかないと、決めるところの、行政のトップの方が見ていただくのが、一番、私らにしたら手っ取り早いかなと思いますので、もしお時間が

ありましたら、どうぞ、皆様よろしくお願ひいたします。

○波多野庇砂議長 ほか、ございますか。

(「なし」の声あり)

それでは、これをもちまして、平成28年乙訓福祉施設事務組合議会第2回定例会を閉会いたします。

ご苦勞さまでございました。

(閉会 午前10時34分)

地方自治法第123条第2項の規定により下記に署名する。

乙訓福祉施設事務組合議会議長 波多野 庇 砂

会 議 録 署 名 議 員 武 山 彩 子

会 議 録 署 名 議 員 辻 真理子